



10年目を迎えた「福祉自動車移送事業」

古牧地区の障害者や高齢者で歩行困難な方々が、医療機関・リハビリ施設・介護施設等を経済的、迅速的に利用できるよう支援するため福祉自動車移送事業を平成15年10月1日から開始し、平成25年10月で10年目となったのでこの10年間の事業を振り返って見ることにしました。

1 主な事業の推移

- (1) 事業運営資金は、3頁表1のとおり、各区の皆様方のご理解とご協力により延べ1千55万1千円のご支援を賜り、長野市社会福祉協議会からは補助金交付額延べ457万7千円の支援と福祉自動車2台の補助金600万円の交付により、移送事業の充実と円滑なサービス運営を図ることができました。
- (2) 福祉自動車の利用は、3頁表2のとおりで利用件数は延べ19,826件(25年度末見込み)に達し利用者数は、延べ899人(25年度末見込み)となっています。また、3頁表4のとおり各区の利用者数(登録会員)も、徐々に増加しています。
- (3) 利用者を送り出した福祉自動車の走行延べ距離は、3頁表3のとおり延べ168,599km



出発式(平成15年10月1日)

(25年度末見込み)となり、車両の安全を確保するための維持費は延べ703万6千円(25年度末見込み)となっています。また、この走行距離は延べ28人の運転協力員によって、人身事故もなく安全に移送することができました。

こうしたこれらの業績を積み重ねることができたのも、福祉自動車の利用会員申込受付業務及び福祉自動車利用会員宅への配車と運行指示書の作成業務を精力的に努められたコーディネーターと、福祉自動車運行指示書に従い延べ28人の運転協力員の皆さんが、雨の日、風の日、雪の日も休まず安全運転に努められたことによるものであり、価値ある業績となっています。

2 福祉自動車(あいりん号)の更改

平成15年に購入した1台目の福祉自動車は、耐用年数、走行距離、車体修繕状態等勘案するとともに、自動車安全運行確保のために平成23年8月新車に更改を行い、現在の福祉自動車は2台目のあいりん号となりました。

3 福祉自動車移送事業の導入、開始から今日まで携わった方々の思いを語っていただきました。(福祉サービスセンター)



福祉自動車運転協力員研修会(平成15年9月22日)

あいりーん号誕生物語

五分一 飯塚英人



(あいりーん号)

福祉自動車あいりーん号が導入されてから早いもので10年になるというが、導入当時関わった者としては誠に嬉しく懐かしく感無量です。そこでその思い出の一つを紹介しますと、広報誌を通じて古牧地区の皆さんに福祉自動車の愛称を募集したところ20編程の応募がありました。愛称選定委員長のもと5人程の委員が事前審査したり投票したりして2編に絞り込まれました。一つが「あいりーん」でもう一つは「こまっきーず」でした。提案趣旨は前者が「隣人を愛す」をかわいらしく



助手席が地面まで降ります

表現したとあり、後者は「古牧の人達のをニューヨークヤンキース風と呼んだとあり、投票数は同数でした。決選投票をすることになりました。

その時、選定委員長が『あいりーんは「愛輪」にも「愛隣」にも通ずるからいい』と独り言のようにつぶやいた。それが効いたのか決選投票はあいりーんが制した。決定してから投稿者は誰だろうと聞いたところ、飯塚英人の孫と小林ひと美さんの子ども、いずれも中学生だった。選考委員一同顔を見合わせ大爆笑。かくしてあいりーん号は動き始めた。いつまでも古牧の人達に愛され走り続けてほしいと願っています。



救命救急講習会 (平成19年6月26日)

「あいりーん号」と共に10年

運転ボランティア 小山 六一郎

古牧地区に福祉自動車が導入され早くも10年が経ちました。福祉自動車の愛称は「あいりーん号」で、愛隣で隣人を愛するという人類愛に繋がるいい名前です。核家族化が進み自立生活する高齢世帯にはますます福祉自動車の需要は高まっていくと思います。

古牧地区を取り巻く交通網は国道18号、19号、406号、他に主要道路が縦断しており運転には注意を要するところですので、運転ボランティアは皆、自身の健康管理に留意し安全運転・安心運転を心がけています。

無事に送迎が終り利用者さんから笑顔で感謝されると運転の疲れが消え、清々しい気持ちになります。10年を区切りに、私は運転ボランティアを勇退したいと思います。無事終わったことと相棒の「あいりーん号」に感謝です。

「あいりーん号」を利用して

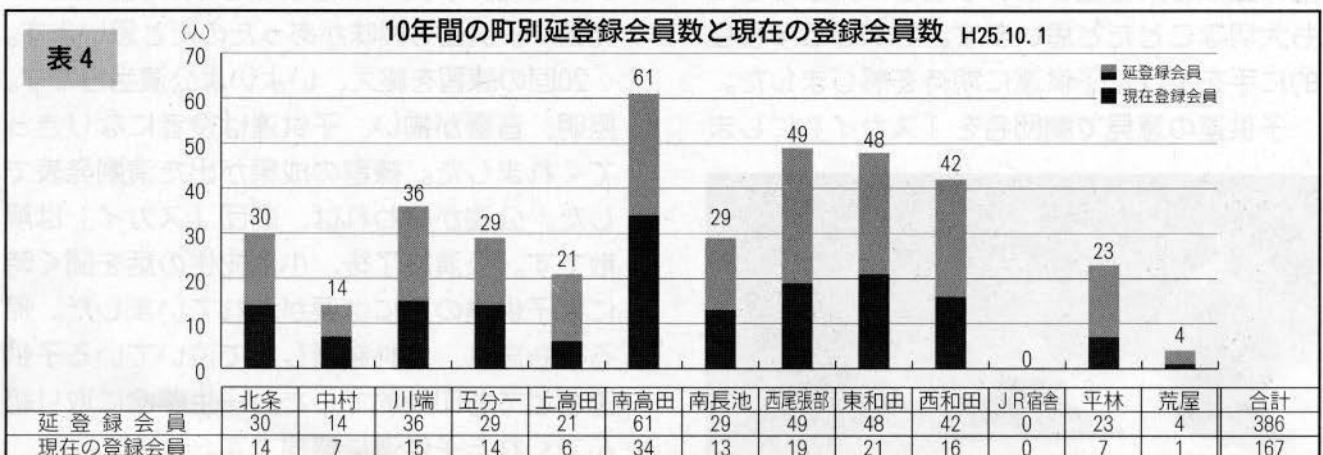
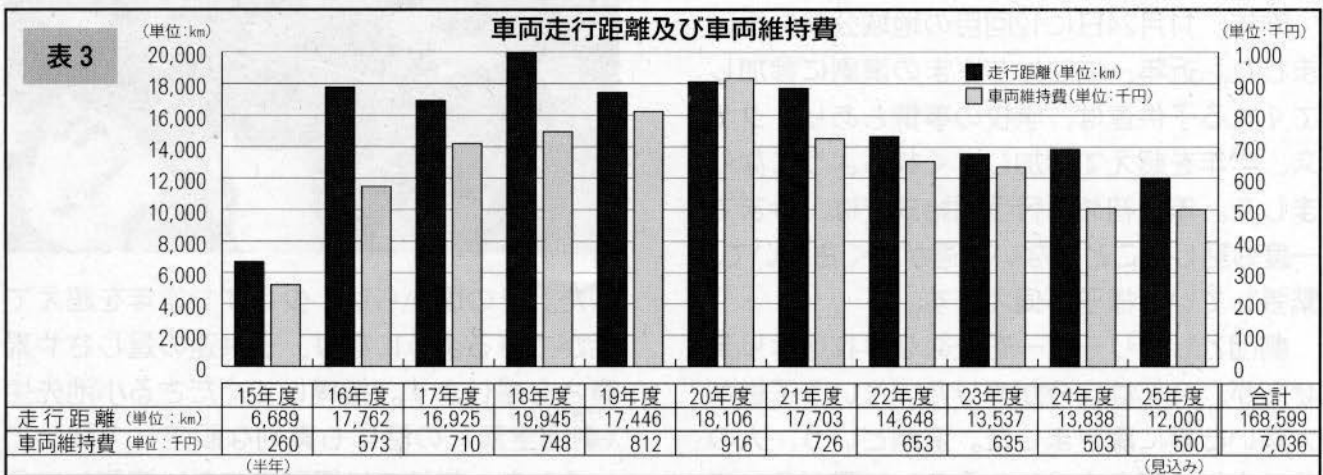
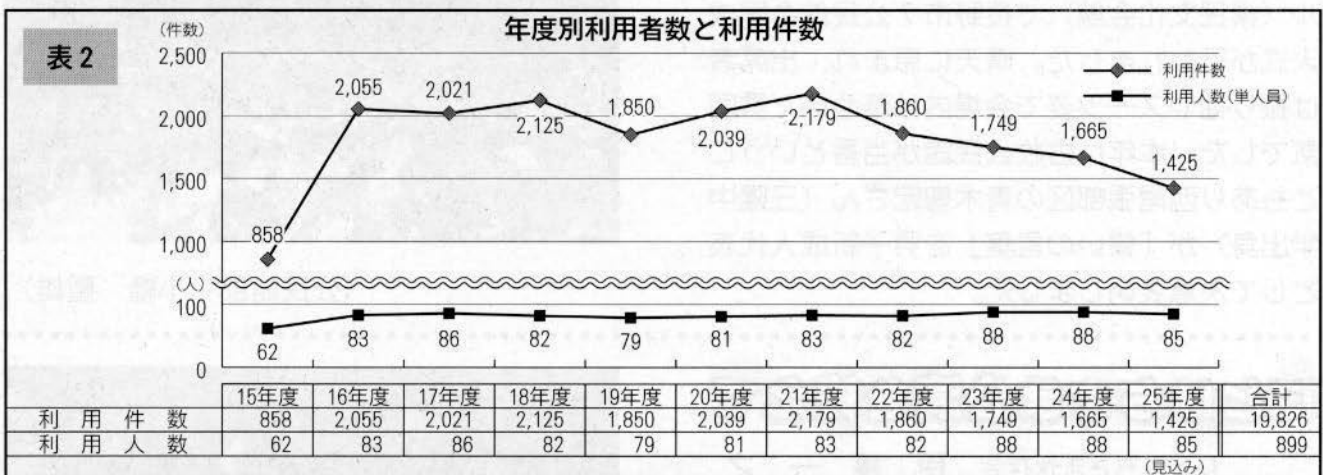
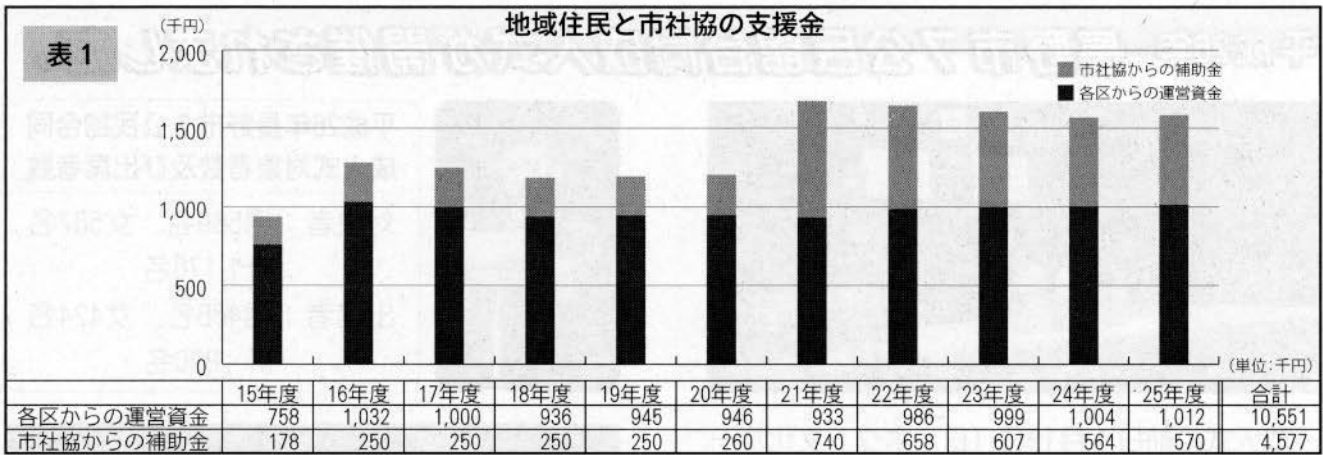
利用会員 東 實

私、本年6月頃より脊柱管狭窄にて足腰が不自由となり、尚、火・木・土の3回透析を受けるため「あいりー



新あいりーん号お披露目式 (平成23年8月8日)

ん号」のお世話になっております。コーディネーターの小林さんにはその都度大変なご配慮を賜り、尚、運転して下さっている方々にもそれぞれご親切にして頂き、時間も早め早めにお越しくださり恐縮しております。小生も自宅にて気功等も行い、自分の足で歩けるよう努力をいたしておりますが、当分の間はお世話になる事と思っております。何卒今後ともよろしくお願い申し上げます。



平成26年 長野市7公民館合同成人式が開催されました。



成人式の前日1月12日(日)ホクト文化ホール(県民文化会館)で長野市7公民館合同成人式が行われました。晴天に恵まれ、出席者は振り袖やスーツ姿で会場内は華やいだ雰囲気でした。本年は古牧公民館が当番ということもあり西尾張部区の青木智宏さん(三陽中学出身)が「誓いの言葉」を男子新成人代表として決意表明しました。



平成26年長野市7公民館合同成人式対象者数及び出席者数

対象者：男589名、女587名
計1,176名
出席者：男466名、女424名
計 890名



(公民館部 小幡 重雄)

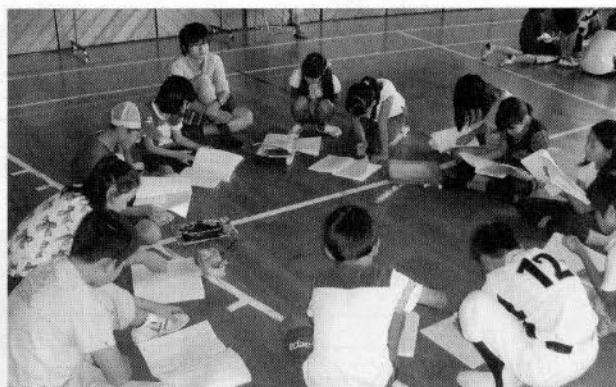
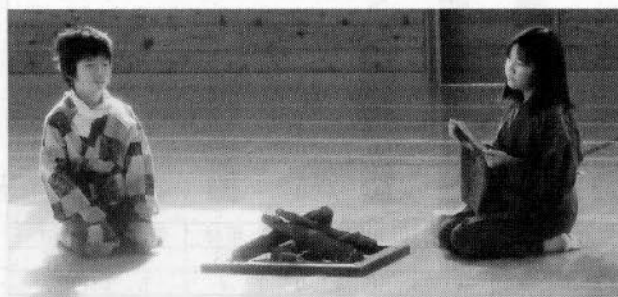
にとはちさま公演を終えて

にとはちさま保存会 伊藤 一之

昨年、11月24日に12回目の地域公演を行いました。近年、にとはちさまの演劇に参加してくれる子供達は、学校の事情もあり、クラス、学年を超えて参加してくれるようになりました。年度初めに行う開始式では、今まで一度も話したことがない友達がたくさんいて、緊張している様子が伺えます。

劇団としてリーダーを決めなければなりません。今年は自分がやりたいという子供が大勢いた事に驚きました。演劇という、人の前に立って声を出すということに繋がるとても大切なことだと思います。物怖じせず積極的に手を上げた子供達に期待を感じました。

子供達の意見で劇団名を「スカイ」にし



した。その頃からは、少しずつ学年を超えて話ができるようになり、子供達の逞しさや素直さを感じます。指導して下さる小池先生けきだんからす(劇団空素)の話にも真剣な眼差しで聞いていました。学校では経験できない演劇という発動に子供達も興味があったのだと思います。

20回の練習を終え、いよいよ公演当日です。照明、音響が揃い、子供達は役者になりきってくれました。練習の成果が出た演劇発表でした。公演が終われば、劇団「スカイ」は解散です。公演終了後、小池先生の話聞く時には子供達の目には涙が溢れていました。帰る事も忘れ、別れを惜しんで泣いている子供達がとても印象的でした。一生懸命に取り組んでくれた子供達に感謝です。

平成25年度 古牧地区別 人権同和教育研修会の実施結果

古牧人権・男女参画部

実施月日・時間	実施会場・参加者数	研修会名、講師、内容等
10月26日 AM 9:00～ AM 10:50	上高田公会堂 男15名 女13名、計28名	講演 ● 人権問題の根を見つけよう。人権とは・差別と区別 DVD鑑賞「人権のヒント（地域編）」 講師：人権同和政策課 指導主事 小澤 千秋 先生
11月9日 PM 7:00～ PM 8:30	南長池公民館 男20名 女5名、計25名	講演 ● 日常の人権について、子どものいじめ問題について DVD鑑賞「桃香の自由帳」 講師：長野市人権同和教育指導員 小穴 孝知 さん
11月9日 PM 7:00～ PM 8:30	西尾張部公会堂 男21名 女10名、計31名	講演 ● 「介護と子育てに関わる人権」 ～高齢者と子どもの人権を考える～ 講師：人権同和政策課指導員 松川 保 先生
11月11日 PM 7:00～ PM 8:00	川端公民館 男23名 女8名、計31名	講演 ● 男女が共に生きる未来を DVD鑑賞「日常の人権」・・・女性の人権 講師：人権同和政策課 指導主事 小澤 千秋 先生
11月15日 PM 7:30～ PM 9:00	南高田公民館 男10名 女18名、計28名	講演 ● 人権教育における課題と学校の取り組みについて 迷った時「判断する力を持てるように」 講師：三陽中学校 校長 深澤 弘二 先生
11月16日 PM 7:00～ PM 9:00	北条公民館 男22名 女17名、計39名	講演 ● 子どものいじめと人権について いじめの現状と対応・社会問題としての、いじめ、暴力 講師：県人権啓発センター人権啓発・相談員 市原 潤 先生
11月16日 PM 6:00～ PM 7:30	五分一公民館 男32名 女6名、計38名	講演 ● 地域振興と男女共同参画について 資料、プロジェクターによるグラフ等の説明 講師：元信濃毎日新聞論説委員 三島 利徳 氏
11月28日 PM 7:00～ PM 8:30	東和田公会堂 男16名 女4名、計20名	講演 ● 暮らしの中で起きている人権問題について スライド上映～差別解消への課題等 講師：人権同和政策課 大豆島隣保館長 丸山 正一 氏
11月30日 AM 10:00～ AM 11:40	西和田公民館 男16名 女10名、計26名	講演 ● 西和田の歴史問題研修会 講師：堀内 知徳 先生
12月20日 PM 7:30～ PM 8:00	JR東日本 仰山荘 男20名 女10名、計30名	DVDの視聴～人権を考える 「日常の人権・気づきから行動へ」
1月18日 PM 2:00～ PM 3:30	平林公民館 男16名 女13名、計29名	講演 ● 日常の人権について、子どものいじめ問題について DVD鑑賞「人権のヒント」 講師：長野市人権同和教育指導員 小穴 孝知 さん
1月18日 PM 2:00～ PM 4:00	荒屋公民館 男8名 女3名、計11名	被災者の願いを知り、私達は何が出来るか話し合う 講師：荒屋公民館長・人権男女参画部員 荒井一郎 さん
1月25日 PM 1:00～ PM 3:00	中村公民館 男13名 女12名、計25名	講演 ● 人権同和の研修 「ゲートキーパー」って知っていますか？ 講師：三陽保健センター 保健師 中沢 千恵 さん

2月・3月の主な事業実施日のお知らせ 住民の皆様ご参加ください

事業名	実施日	場所	実施内容	お問合せ先
福祉関係団体との打合せ会	2月20日	古牧公民館	福祉事業の現状について意見交換	古牧ボランティアセンター 244-8159
子ども会活動発表会	2月22日	古牧公民館	13地区子ども会の活動発表	青少年育成部 243-3476
健康づくり運動	2月28日	三陽保健センター	体に効果的な運動のコツ	古牧ボランティアセンター 244-8159
市道白線引き	3月～5月	各区域内	13区域内で市道の白線引き	安全部 226-2525

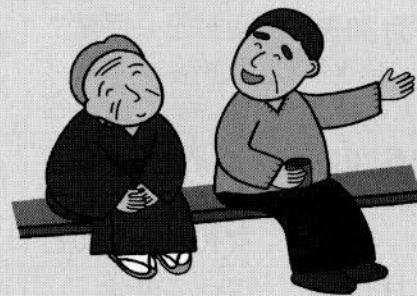


認知症になりにくい生活とは

超高齢化時代に入り、長寿県である我が県においても認知症は、避けて通れない問題であります。加齢が主な原因とされている認知症ですが、同じ年齢で発症する人も、しない人もいるのは何故でしょうか？生活習慣と認知症予防について考えてみたいと思います。

認知症の方は、脳をあまり活発に使わない生活をされている傾向があり、体を動かさず変化や刺激に乏しい生活は要注意であると言われております。その一方で、あまり脳を酷使し過ぎても神経細胞が過労死してしまい、認知症になりやすいとも言われており、予防には「控えの脳細胞」を確保されていれば、脳に何か障害が起こった場合に助けてくれるので認知症の予防につながると言われておりますので「ボケない五ヶ条」を紹介したいと思います。

- 一 仲間がいて、気持ちの若い人。
- 二 人の世話をよくし、感謝のできる人。
- 三 ものをよく読み、よく書く人。
- 四 よく笑い、感動を忘れない人。
- 五 趣味の楽しみをもち、旅の好きな人。



以上の五ヶ条に努め達者で長生きしたいものです。

(小穴 孝知)



古牧地区の世帯数と人口

26年1月1日現在

10,744 世帯

26,287 人

(男 12,924人 女 13,363人)

- 発行所 古牧地区住民自治協議会
(電話 259-8359)
- 発行者 湯沢 角雄
- 編集 ぷらネットこまき編集委員会
- 印刷 (有)小池印刷